

海軍公報

第千五十七號

昭和五年八月一日(金)

海軍大臣官房

○令達

官房第二六一三號

海軍各應職員ニシテ海軍共濟組合又ハ同附屬施設(以下組合ト略稱ス)ノ業務ニ服スル者組合ノ業務ノ爲旅行スルトキハ組合ニ於テ海軍旅費規則ニ定ムル旅費ヲ支給スルコトヲ得

昭和五年八月一日

海軍大臣

○通牒

海共第一三六號

海軍共濟組合旅費規程左ノ通定ム

昭和五年八月一日

海軍艦政本部長

海軍共濟組合旅費規程

第一條 海軍共濟組合勤務員規程第三十六條ノ旅費ハ

本規程ニ依ル

本規程ハ本邦内ノ旅行ニ付規定スルモノニシテ本邦外ノ地域ヲ旅行スルトキハ海軍南洋群島關東州南滿洲旅費規則及海軍外國旅費規則ノ例ニ依ル

第二條 旅費ハ鐵道賃、軌道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓料トス

第三條 旅費ハ第一表ノ等級ニ依リ之ヲ支給ス

第四條 鐵道旅行ニハ鐵道賃、軌道旅行ニハ軌道賃、水路旅行ニハ船賃、鐵道軌道ニ依ラザル陸路旅行ニハ車馬賃ヲ支給ス

第五條 鐵道賃ハ左ノ區別ニ依ル旅客運賃及急行料ニ依リ之ヲ計算ス

一 一、二、三等車若ハ二、三等車ヲ運轉スル線路

ニ在リテハ旅費等級三等以上ノ者ハ二等、四等

以下ノ者ハ三等

二 三等車ノミヲ運轉スル線路ニ在リテハ總テ三等

急行料ハ旅客運賃ニ相當スル等級ニ依リ急行券有効

海軍公報 第千五十七號 昭和五年八月一日

七五三

0909

區間毎ニ八十五粒以上ナルトキハ普通急行料、百七十粒以上ニシテ實際乗車ノ必要アリタルトキハ特別急行料ヲ支給ス

第六條 軌道賃及船賃ハ鐵道賃ノ例ニ準ズ

第七條 車馬賃ハ實費トス

第八條 日當ハ日數、宿泊料ハ夜數ニ應ジテ之ヲ支給ス

水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セズ但シ天災其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ陸上宿泊ヲ要シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

食卓料ハ水路旅行ニ於テ船賃ノ要否ニ拘ラズ食費ノ支拂ヲ要スル場合夜數ニ應ジテ之ヲ支給ス

第九條 旅行日數ハ出張地ニ於ケル用務滞在日數及天災其ノ他已ムヲ得ザル事故ノ爲要シタル日數ヲ除キ鐵道旅行ハ出發ノ當日ハ三百三十粒其ノ後ハ四百八十粒、軌道旅行ハ三百三十粒、水路旅行ハ出發ノ當日ハ百海里其ノ後ハ百五十海里、陸路旅行ハ十二里ニ付一日ノ割合ヲ以テ通算シタル日數ヲ超過スルコトヲ得ズ
各行程ニ端數ヲ生ジタルトキハ前項ノ割合ニ依リ換算シテ日數ヲ計算シ一日未滿ハ之ヲ一日トス

第十條 日當、宿泊料、食卓料ハ第二表ニ依リ之ヲ支給ス

第十一條 旅程陸路六里未滿、鐵道及軌道七十八粒未滿、水路三十海里未滿ノ旅行ニ在リテハ已ムヲ得ザル事故ノ爲宿泊ヲ要シタル場合ニ限り日當及宿泊料ヲ支給ス

前項ノ旅行ニシテ陸路、鐵道、軌道又ハ水路ニ互ルトキハ鐵道軌道十三粒、水路五海里ヲ陸路一里ノ割合ニテ計算ス

第一表 旅費等級

區分	一等	二等	三等	四等	五等
役員	月給二百五十圓以上ノ者	月給百五十圓以上ノ者	月給五十圓以上ノ者	月給二十圓以上ノ者	月給十圓以上ノ者
役員ニ非ザル者	同上ノ者	同上ノ者	同上ノ者	同上ノ者	同上ノ者

第二表 日當、宿泊料、食卓料

旅費等級	日當	
	内地	朝鮮、臺灣、樺太
一等	六〇〇	七〇〇
二等	五〇〇	六〇〇
三等	三〇〇	四〇〇
四等	二〇〇	二五〇
五等	一五〇	二〇〇

食卓料	宿泊料	
	内地	朝鮮、臺灣、樺太
二五〇	八〇〇	二〇〇
二五〇	七〇〇	九〇〇
二〇〇	五五〇	七〇〇
一三〇	三五〇	四五〇
一〇〇	二八〇	三五〇

○ 辭令

海軍艦政本部勤務兼造船監督助手

海軍技手 有馬 彦太郎

佐世保海軍工廠附ヲ命ス

佐々木 順藝

吳海軍刑務所教誨師囑託ヲ解ク(以上^註海軍省)

海軍航空本部勤務兼造兵監督助手

海軍技手 菅原 一男

海軍航空本部造兵監督助手

海軍航空本部造兵監督助手

同 村井 道三

海軍航空本部勤務ヲ命ス(以上^註海軍省)

海軍主計中尉 佐野 純雄

天霧艦裝具ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏

ヲ命ス(以上^註海軍省經理局支出官)

海軍公報 第千五十七號 昭和五年八月一日

七五五

0911

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月一日午前七時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、金剛▲、八雲▲、古鷹▲、磐手、

赤城▲、多摩、長門、春日

沖風、矢風、峯風、澤風、沙風、島風、

灘風、夕風、楯、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、伊二二、伊一、伊五九▲、

伊六〇、伊六三、伊五四

富士、尻矢

【長浦】

(高雄)

阿蘇、嚴島

太刀風、帆風、羽風、秋風、杉、柏、榊、松、

如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂一二、呂一三、呂二二、

呂二〇、呂二一、呂五五、呂五四、

呂五五、伊三、伊二四、伊二二、

伊二三

【石川島】

(天霧)

浦賀】(狹霧)

金田灣】(長鯨)

呂六一、呂六〇、呂六二、呂六四、

呂六三、伊五五、伊五三、伊五八、

伊五七、伊五八

【館出】

陸奥、榛名、伊勢、山城、山良、長良、

川内、那珂、足柄、加賀、風翔、

羽黒、那智、妙高、青葉、衣笠、加古、

鬼怒

早蕨、奥竹、若竹、早苗、朝顔、刈萱、

萩、薄、藤、菖、菱、葦、野風、

神風、波風、沼風、深雪、吹雪、白雪、

初雪、叢雲、薄雲、東雲、白雲、浦波、

磯波、敷波、綾波

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

問宮、能登呂

朝風、春風、旗風

大泊

大和

扶桑、日向、神通、淺間、比叡、矢矧、

勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

江風、谷風、菊、葵、磯風、天津風、

時津風、濱風、芙蓉、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、呂二七、呂二六、

呂一四、呂一五、呂一六、呂一九、

呂一七、呂一八、呂五三、呂五一、

呂五八、呂五七、呂五九、呂二五、

呂六八、伊六一、伊六二、伊四、

伊五二、伊五一

掃一〇、掃七、掃八、掃九

劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳、室戸

(愛宕)、(伊六四)

【德山】 鴨戸
【舞鶴】 吾妻、阿武隈

呂三、呂三一

青島

【佐世保】

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

長月、呂夕月、三日月、望月、菊月、呂櫻、柳、桃、檜、呂樅、梨、竹、榎、呂夕風、疾風、追風、朝風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、鶴見、早瀬

【馬公】 五十鈴

【作業地】 柿、榆、栗、梅

【旅順】 滿州

【龍口】 桑

【青島】 球磨

【樺、檉】

【上海】 蟻蛾、鳥羽

【九江】 蒲田

【漢口】 安宅、堅田、平戸

【長沙】 二見

【宜昌】 比良

【重慶】 保津

【廣東】 宇治

【トラツク】 淀

膠州

【航海中】

松風 (六月二十六日大湊發)

佐多 (七月二十四日「オハ」發—徳山へ)

洲崎 (七月二十八日横須賀發—「オハ」へ)

隱戸 (七月二十九日吳發—「オハ」へ)

熱海 (七月三十日靖港發—漢口へ)

北上 (七月三十日鮫發—横須賀へ)

勢多 (七月三十一日上海發—南京へ)

神威 (七月三十一日徳山發—横須賀へ)

野島 (七月三十一日横須賀發—吳へ)

伏見 (一日上海發—漢口へ)

(部内限二頁)

0913

海軍公報

第千五十八號

○ 辭 令

海軍技手 山崎 淺吉

第四部勤務ヲ命ス(註)海軍艦政本部

海軍少佐 加藤 尙雄

兼技術部勤務ヲ命ス(註)海軍航空本部

昭和五年八月二日(土)

海軍大臣官房

海軍公報 第千五十八號 昭和五年八月二日

七五九

0914

○艦船所在

▲印ハハホ
指定ヲ要セズ

○八月二日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、金剛▲、八雲▲、古鷹▲、磐手、赤城▲、多摩、長門、春日、北上

▽沖風、矢風、峯風、澤風、▽汐風、島風、灘風、夕風、▽楠、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、▽伊二、伊一、▽伊五九▲

伊六〇▲、伊六三▲、伊五四

富士、尻矢、神威

(高雄)

【長浦】

阿蘇、殿島

▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽杉、柏、榊、松、如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂二二、呂一三、▽呂三二、呂二〇、呂二一、▽呂五六、呂五四、呂五五、伊三、▽伊二四、伊二二、伊二三

伊二三

【石川島】

(天霧)

【浦賀】

(狹霧)

▽迅鯨、▽長鯨

▽呂六一、呂六〇、呂六二、▽呂六四、呂六三、▽伊五五、伊五三、▽伊五六、伊五七、伊五八

【館山】

▽陸奥、榛名、伊勢、山城、▽由良、長良、川内、▽那珂、▽足柄、▽加賀、鳳翔、羽黒、那智、妙高、▽青葉、衣笠、加古、▽鬼怒

▽早蕨、吳竹、若竹、早苗、▽朝顔、刈萱、▽萩、薄、藤、葛、▽菱、葦、▽野風、神風、波風、沼風、▽深雪、吹雪、白雪、初雪、▽叢雲、薄雲、東雲、白雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六

問宮、能登呂

朝風、春風、旗風

大泊

大和

扶桑、日向▲、神通、淺間、比叡、矢矧、勝利、白鷹、大井、天龍、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽磯風、天津風、時津風、濱風、芙蓉▲、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▽呂二七、呂二六、▽呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一九、呂一七、呂一八、▽呂五三、呂五一、▽呂五八、呂五七、▽呂五九、呂二五、▽呂六八、▽伊六一、伊六二、▽伊五二、伊五一

▽掃一〇、掃七、掃八、掃九

【大湊】

朝風、春風、旗風

大泊

大和

扶桑、日向▲、神通、淺間、比叡、矢矧、勝利、白鷹、大井、天龍、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽磯風、天津風、時津風、濱風、芙蓉▲、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▽呂二七、呂二六、▽呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一九、呂一七、呂一八、▽呂五三、呂五一、▽呂五八、呂五七、▽呂五九、呂二五、▽呂六八、▽伊六一、伊六二、▽伊五二、伊五一

▽掃一〇、掃七、掃八、掃九

【吳】

扶桑、日向▲、神通、淺間、比叡、矢矧、勝利、白鷹、大井、天龍、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽磯風、天津風、時津風、濱風、芙蓉▲、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▽呂二七、呂二六、▽呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一九、呂一七、呂一八、▽呂五三、呂五一、▽呂五八、呂五七、▽呂五九、呂二五、▽呂六八、▽伊六一、伊六二、▽伊五二、伊五一

▽掃一〇、掃七、掃八、掃九

0915

劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳、室戸

【徳山】(愛宕)、(伊六四)

【徳山】

佐多

【舞鶴】

吾妻、阿武隈

呂三、

呂三一

(夕霧)

【佐世保】

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

長月、呂夕月、三日月、望月、菊月、呂櫻、

柳、桃、檜、呂樅、梨、竹、榎、呂夕風、

疾風、追風、朝風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、

呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、

呂六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、鶴見、早鞠

【馬公】

五十鈴

呂柿、梅、楡、栗

【作業地】

滿州

【旅順】

楨

【龍口】

桑

【青島】

球磨

呂椿、櫻

【上海】

嗟峨、鳥羽

【南京】

浦風

【九江】

勢多

【漢口】

陽田、堅田、平戸

【長沙】

二見

【宜昌】

比良

【重慶】

保津

【廣東】

宇治

【トラツク】

淀

膠州

【航海中】

松風 (六月二十六日大湊發)

洲崎 (七月二十八日横須賀發)「オハ」()

隱戸 (七月二十九日吳發)「オハ」()

熱海 (七月三十日靖港發)「漢口」()

野島 (七月三十一日横須賀發)「吳」()

伏見 (一日上海發)「漢口」()

伊四 (一日吳發)「多度津」()

鳴戸 (一日徳山發)「オハ」()

青島 (一日舞鶴發)「徳山」()

(部内限ナシ)

0916

海軍公報

第千五十九號

昭和五年八月四日(月)
海軍大臣官房

○辭令

○昭和五年八月二日

任海軍書記

池田 忍

給月俸六拾圓

任海軍技手

高橋 德三郎

給月俸七拾圓

海軍技術研究所附ヲ命ス

海軍書記 池田 忍

海軍兵學校附ヲ命ス(以上訪海軍省)

海軍技手 高橋 德三郎

海軍經理學校ニ於ケル游泳術教員囑託ヲ解ク(註二)

海後 勝雄

海軍經理學校)

○雜款

○特務艦早艇行動豫定

地名 着

佐世保

八月六日

オハ

八月十四日

德山

二十五日

佐世保

二十八日

發
二十七日

○郵便物發送先

呂號第六十八潜水艦宛

當分ノ間

佐世保

特務艦早艇宛

八月五日迄ニ到達見込ノモノハ

佐世保

同 二十六日迄ニ

德山

其ノ後ハ

佐世保

○郵便物發送先變更(七月十八日)

特務艦佐多宛

自今 佐世保

0917

海軍中佐正六位勳四等小野虎太郎、海軍大尉正七位勳六等津久井金四郎、海軍一等航空兵曹勳八等肥後道盛本月一日戦闘飛行中館山灣外ニ於テ殉職セリ

故小野海軍中佐ノ葬儀ハ來七日午後一時三十分霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行

0918

○艦船所在

指印ハハホフ
定ワ要セズ

○八月四日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、金剛▲、八雲▲、古鷹▲、磐手、赤城▲、多摩、長門▲、春日、北上

沖風、矢風、峯風、澤風、沙風、島風、灘風、夕風、桶、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、伊二二、伊三一、伊四一、伊五九▲、伊六〇▲、伊六三▲、伊五五、伊五三、伊五四、伊五六、伊五八

富士、尻矢、神威

(高雄)

【長浦】

阿蘇、嚴島

太刀風、帆風、羽風、秋風、杉、柏、榊、松、如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂一二、呂一三、呂二二、呂二〇、呂二一、呂五五、呂五四、呂五五、伊三、伊二四、伊二二、伊二三

【石川島】

(天霧)

【浦賀】

(狹霧)

【金山灣】

迅鯨、長鯨

呂六一、呂六〇、呂六一、呂六四、呂六三、伊五七

【館山】

陸奥、榛名、伊勢、山城、由良、長良、川内、那珂、足柄、加賀、鳳翔、羽黑、那智、妙高、青葉、衣笠、加古、鬼怒

早蕨、吳竹、若竹、早苗、朝顔、刈萱、萩、薄、藤、葛、菱、葦、草、野風、神風、波風、沼風、深雪、吹雪、白雪、初雪、叢雲、薄雲、東雲、白雲、浦波、磯波、敷波、綾波

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、問宮、能登呂、朝風、春風、旗風、大泊

【大湊】

【才】

【吳】

洲崎、扶桑、日向、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

江風、谷風、菊、葵、磯風、天津風、時津風、濱風、芙蓉、夕顔、呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

掃一〇、掃七、掃八、掃九

劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳、室戸

(愛宕)、(伊六四)

【徳山】青島

【舞鶴】吾妻、阿武隈

呂三、呂三一

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

長月、呂夕月、三日月、望月、菊月、呂櫻、柳、桃、檜、呂樅、梨、竹、榎、呂夕風

疾風、呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、呂二三、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六六、呂六五、呂六七

【馬公】五十鈴、敷島、知床、早朝、佐多、鶴見

【作業地】柿、榎、榆、栗

【旅順】樺、櫻、楨

【龍口】桑、球磨

【青島】球磨、嵯峨、鳥羽

【上海】嵯峨、鳥羽

【南京】勢多

【九江】隅田、漢口、安宅、平戸、堅田、熱海

【長沙】浦風、二見

【宜昌】比良

【重慶】保津

【廣東】宇治

【トランク】淀

膠州

【航海中】

【松風】六月二十六日大湊發

【隱戸】七月二十九日吳發「オハ」

【伏見】一日上海發「漢口」

【鳴戸】一日徳山發「オハ」

【伊四】三日多度津發「鳥羽」

【野島】三日吳發「佐世保」

【追風】朝風「四日佐世保發「鎮海」

【大和】四日皆別發「富内」

(號外二頁、部内限二頁)

0920

海軍公報 號外

昭和五年八月四日(月)
海軍大臣官房

○ 令 達

官房第二三八七號ノ二

本年官房第二三八七號中左ノ通改正ス

昭和五年八月四日

別表第四ヲ附表ノ如ク改ム

附 則

本令ハ昭和五年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

(別表第四)

海 軍 大 臣

轉	移		旅	費	等	級
	鐵道	四				
千二百十軒未滿	八百十軒未滿	四百十軒未滿	一等	八〇〇	二	八〇〇
			二等	七五〇	三	六五〇
			三等	六〇〇	四	五〇〇
			四等	四〇〇	五	三〇〇
			五等	三〇〇	六	二五〇
			六等	二〇〇	七	二〇〇
			七等	一五〇	八	一五〇
			八等	一〇〇	九	一〇〇
			九等	八〇	十	八〇
			十等	七〇		七〇

海軍公報 號外

0921

支	料		度		料	
	千六百十粒未滿	千六百十粒以上	一五〇〇	一〇八〇〇	九〇〇〇	七三〇〇
一	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇八〇〇	九〇〇〇	七三〇〇	五四〇〇
二	八〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	七〇〇〇	四五〇〇	四五〇〇
三	六〇〇〇	七〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	二四〇〇
四	四〇〇〇	四〇〇〇	三〇〇〇	二八〇〇	一四〇〇	一〇〇〇
五	三〇〇〇	二八〇〇	一四〇〇	一四〇〇	九〇〇	九〇〇
六	二四〇〇	二四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	九〇〇	九〇〇
七	二〇〇〇	一八〇〇	一四〇〇	一四〇〇	九〇〇	九〇〇
八	一六〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	九〇〇	九〇〇
九	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	一四〇〇	九〇〇	九〇〇
十	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	九〇〇	九〇〇
十一	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
十二	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
十三	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
十四	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
十五	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
十六	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
十七	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
十八	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
十九	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
二十	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
二十一	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
二十二	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
二十三	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
二十四	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
二十五	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
二十六	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
二十七	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
二十八	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
二十九	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
三十	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
三十一	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
三十二	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
三十三	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
三十四	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
三十五	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
三十六	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
三十七	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
三十八	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
三十九	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
四十	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
四十一	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
四十二	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
四十三	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
四十四	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
四十五	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
四十六	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
四十七	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
四十八	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
四十九	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
五十	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
五十一	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
五十二	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
五十三	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
五十四	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
五十五	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
五十六	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
五十七	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
五十八	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
五十九	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
六十	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
六十一	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇
六十二	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
六十三	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
六十四	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
六十五	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
六十六	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
六十七	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
六十八	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇
六十九	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
七十	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇	九〇〇〇

- 一 各科中少尉及候補生ノ移轉料ハ各々本表四及五等額ノ二分ノ一トス
- 二 家族移轉料ノ支給ヲ受クル者ニハ其ノ際本人家族移轉ノ資格ヲ發生シタル當時ノ旅費等級ニ依リ本表移轉料鐵道四百十粒未滿ノ額ノ九割ヲ更ニ支給ス但シ第五十三條ノ場合ニ在リテハ本表鐵道四百十粒未滿ノ額ノミヲ支給ス
- 三 鐵道以外ノ旅行ニ在リテハ軌道三百三十粒、水路百海里、陸路十二里ヲ鐵道三百三十粒ノ割合ニ依リ計算シ支給區分ヲ定ム
- 四 移轉料ヲ區分スル粒數ハ出發地ヨリ目的地迄ノ順路ニ依ル粒程トス

海軍公報 第一千六十號

昭和五年八月五日(火)
海軍大臣官房

○辭令

海軍少佐 岩瀬 正巳
艦船造修試験検査規則改正委員會委員ヲ命ス

海軍機關少佐 遠山 清春

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

艦船造修試験検査規則改正委員會委員ヲ命ス(以上附
海軍省)

海軍少佐 岩瀬 正巳

第一部第二課勤務兼第五部勤務ヲ命ス

海軍機關少佐 遠山 清春

第五部勤務ヲ命ス(以上附海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第二十九驅逐隊司令ハ本月四日司令驅逐艦ヲ一時夕風
ヨリ朝風ニ變更セリ

○滯在地變更

海軍軍醫中尉三浦大亮ハ佐世保ヨリ東京へ滯在地變更
ノ儀本月五日認許セラレタリ

海軍公報 第一千六十號 昭和五年八月五日

七六七

0923

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月五日午前十時調

【横須賀】

筑摩、日進、金剛、八雲、古鷹、磐手、赤城、多摩、長門、春日、北上、迅鯨、羽黒、長鯨

沖風、矢風、峯風、澤風、沙風、島風、灘風、夕風、楠、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、伊二二、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八

【長浦】

阿蘇、嚴島

太刀風、帆風、羽風、秋風、杉、柏、榊、松、如月、彌生、睦月、卯月

【品川沖】
【浦賀】
(天霧)
(狹霧)

呂一一、呂一二、呂一三、呂二二、呂二〇、呂二一、呂五五、呂五四、呂五五、伊三、伊二四、伊二二、伊二三

【館山】

川内、那珂、加賀、鳳翔、足柄、那智、妙高、青葉、衣笠、加古、鬼怒、早嶽、吳竹、若竹、早苗、朝顔、刈萱、萩、薄、藤、葛、菱、葎、葎、野風、神風、波風、沼風、深雪、吹雪、白雪、初雪、濃雲、薄雲、東雲、白雲、浦波、磯波、敷波、綾波

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、間宮、能登呂

【鳥羽】

伊四、朝風、春風、旗風

【大湊】

大泊、大和

洲崎、隠戸、扶桑、日向、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

江風、谷風、菊、葵、濱風、磯風、天津風、時津風、芙蓉、夕顔、呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

海軍公報 第千六十號 昭和五年八月五日

七六九

區掃一〇、掃七、掃八、掃九

劍埼、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳、室戸

(愛宕)、(伊六四)

【德山】青島

【舞鶴】吾妻、阿武隈

區逆、蓬、蓼

呂三一

(夕霧)

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

區樺、櫻、橘、桐、區文月、阜月、水無月、

長月、區夕月、三日月、望月、菊月、區櫻、

柳、桃、檜、區樅、梨、竹、榎、夕風

疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、區呂二四、

區呂三三、區呂三〇、呂二九、呂三二、

呂六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、早鞆、佐多、鶴見、野島

【馬公】五十鈴

區柿、根、楡、栗

【作業地】滿州

【鎮海】區朝風、追風

【旅順】區椿、櫻、楨

【青島】區球磨

【上海】區嗟峨、鳥羽

【南京】勢多

【九江】隅田

【大治】熱海

【漢口】安宅、平戶、堅田

浦風

【長沙】二見

【宜昌】比良

【重慶】保津

【廣東】宇治

【東京】淀

【トランク】膠州

【航海中】

區松風 (六月二十六日大湊發)

伏見 (一日上海發) 漢口()

鳴戶 (一日德山發) 〇ハ()

桑 (四日龍口發) 旅順()

(部内限一頁)

海軍公報

第一千六十一號

海軍大臣官房

昭和五年八月六日(水)

○通牒

官房第二六四六號

昭和五年八月六日

海軍省官報報告主任

關係各廳御中

官報原稿記載方ニ關スル件申進

本件ニ關シ大正七年官房第二三一五號ヲ以テ申進致置候處今般左記ノ通知正致候條御承知相成度

記

一、官報原稿ノ記載方

(一) 字體

- イ、原稿ハナルベク邦文「タイプライター」ヲ以テ印書シ筆寫又ハ「ペン」書ノ場合ハ字體ヲ正確ニスルコト
- ロ、謄寫版等ハ已ムヲ得ザル場合ノミニ限ル、不鮮明ノ字ハ一々筆ヲ入レ明確ニスルコト

(二) 體裁及様式

- イ、大體官報掲載ノ例ニ依リ原稿記載スルコト
- ロ、原稿ハ決シテ用紙ノ兩面ニ認メザルコト若シ兩面刷ノ印刷物ヲ原稿トスル場合ハ二部ヲ用ヒテ片面ヅツニ作製スルコト
- ハ、人名ハ氏ト名トヲ區別シテ記載スルコト

ハ、辭令其ノ他ニ於ケル氏名又ハ地名中俗字、略字若ハ特殊ノ字體ヲ特ニ使用スル場合ニハ一々其ノ字ノ左肩ニ「○」ヲ或ハ「△」此ノ字」ヲ附シ他ノ字ト區別スルコト、右區別ナキトキハ普通ノ字ト看做シ取扱フ但シ記號ヲ附スル俗字、略字又ハ特殊ノ字體ハ一々木版ヲ調製スルノ手數ヲ要スルモノニ付事務ノ簡捷ヲ圖ルベキ今日出來得ル限リ普通ノ字體(一般ニ正字トシテ用ヒラルル書體ノ意ニシテ豊、鹽、鵠、關、天、塚、郎ノ類ノ如シ)ヲ用ヒ已ムヲ得ザルモノノミニ止メテ其ノ煩ヲ除カルルコト

海軍公報 第一千六十一號、昭和五年八月六日

七七

0926

二、辭令ハ日附順ニ配列シ人名ノ上ノ官職位勲功
爵ハ前行ト全部同一ノ場合ニ限リ「同」ヲ用
フルコト

フルコト

(三)原稿中ノ文字ヲ訂正シタル場合ハ必ず主任者捺印
(字ニ妨グナキ様)スルコト尤モ不明瞭ノ字ヲ取繕
ヒタル場合ハ其ノ要ナシ

二、官報原稿用紙

(一)原稿用紙ハ日本紙又ハ洋紙ニテ強靱ナルモノヲ用
フルコト

イ、「タイプライター」用紙以外ハ縦横對入ヲ用フ
ルコト

ロ、墨、インキ等ノ滲マヌモノニ限ル(洋紙ニ在
リテハ印刷物以外ハナルベク筆記用紙ノコト)

(二)形ハ現在使用ノ原稿用紙ヲ改正ノ場合ハ工業品規
格統一調査會答申ノA(現官報ノ大サニテ縦二九
七mm.横二一〇mm.)ニ改ムルコト但シ二ツ折又ハ極
大ノ原稿用紙使用ノ向ハナルベク早ク改ムルコト
ト致度尤モ圖面及譯表類ノ原稿ハ適宜ノ大サニテ
差支ナシ

三、官報原稿送付方
(三)印刷局ニ於テ使用スル原稿用紙別紙ノ通

(一)原稿ハ各應ヨリ依頼アル分ヲ取纏メ掲載日ノ前日
(締切時限ハ午後二時、土曜日及暑中休暇中ハ午
前十一時)之ヲ印刷局ニ送付スルモノニ付必ず前
日ノ朝迄ニ到達スルヲ要ス

日ノ朝迄ニ到達スルヲ要ス

(二)大部ノモノ又ハ譯表圖版様ノモノハ編輯製版上ニ
充分時日ノ餘裕ヲ見込ミ送付スルコト

(三)原版及原圖送付ノ場合
原版ヲ作製シテ送付スル場合

イ、網目版(銅版)ハ六十「メッシュ」ヨリ八十
五「メッシュ」マデノモノトスルコト

ロ、網目版(銅版)、亜鉛凸版、鉛版ニハ本臺ヲ
附セザルコト

原圖ニテ送付スル場合

イ、大キク鮮明ニシテ圖中ノ文字ハ正字ニテ認
メラレ直ニ縮寫シ得ラルル様ノモノ

ロ、縮寫原圖ノ用紙ハ光線ノ良ク反射スル皺ノ
ヨラザルモノ

ハ、適宜ニテ宜シキモノハ其ノ要領ヲ記入スル
コト

(四)原稿ニテ二枚以上ニ互ル場合ハ必ず丁數ヲ附ス
ルコト

五勅令其ノ他ト同時ニ掲載ヲ要スル公文其ノ他ノ原稿ハ其ノ件名ト公布豫定日トヲ記入附箋スルコト
 (諸例冊卷一、九三六ノ三頁参照)
 (別紙一葉添)

艦本第三五五四號
 昭和五年八月六日

海軍艦政本部

關係各廳御中

供給入夫ニ關スル調査ノ件照會
 首題ノ件ニ關シ内務省社會局ヨリノ照會ニ依リ回答ノ必要有之候條昭和四年度中貴廳ニ於テ使用セル入夫供給請負業者ノ供給ニ係ル入夫ニ就キ事業別(適宜分類ノコト)ニ左記事項御調査ノ上八月二十日迄ニ御回報相成度

記

- 一、事業ノ種類
- 二、使用入夫數
 常時使用人員又ハ一箇年使用延人員概數
- 三、業務上ノ傷病ニ對スル扶助(名義ノ如何ヲ問ハズ)ノ狀況

- 1. 請負人ノ爲シタルモノ
- 2. 官ノ爲シタルモノ
- 四、賃銀ノ額及其ノ定メ方
- 五、業務上傷病者統計

- 1. 死亡者數
- 2. 障害ヲ貽シタル者ノ數
 工場法施行令第七條ノ分類ニ準ズルコト
- 3. 全治シタル者ノ數
 イ、重傷(休業二週目以上ノモノ)
 ロ、輕傷(休業二週目未滿ノモノ)
- 4. 休業延日數

○ 辭 令

海軍技手 石川 文次郎
 技術部勤務ヲ命ス(七月十五日)海軍航空本部

○ 雜 款

○佛國航空機本邦飛來豫定
 一、使用機 三〇〇型「フアルマン」機
 標識 白色塗(記章ナシ)

海軍公報 第千六十一號 昭和五年八月六日

七七三

- 二、乗員 「バイイー」及「レジナンシ」ノ二佛國飛行家
- 三、目的 日本訪問
- 四、指定航路 新義州、平壤、京城、大邱、蔚山附近、角島、廣島、大阪、國府津又ハ其ノ西北ヲ經テ厚木、立川ヘ
- 五、離着陸飛行場 京城ハ京城飛行場（京畿道高陽郡龍江面汝矣島）大阪ハ大阪飛行場（大阪市港區船町木津川尻）東京ハ東京飛行場（東京府北多摩郡立川町）
- 六、不時離着陸場 飛行第六聯隊飛行場（平安南道大洞郡大洞江面）大邱練兵場 廣島練兵場 岡山練兵場
- 七、飛行第七聯隊飛行場（靜岡縣濱名郡曳馬村）帝國領土航空中ハ帝國航空法規ヲ遵守スベシ
- 八、帝國領土航空中ハ國際航空條約第二十六條ノ禁制品竝ニ寫真機ノ搭載ヲ禁ズ
- 九、要塞地帯及要塞地帯法第七條ニ定メタル區域竝ニ軍港及要港ノ上空ノ航空ヲ禁ズ
- 一〇、前項ノ禁止地帯竝ニ指定航空路ノ細部ニ付テハ京城飛行場長竝ニ大阪飛行場長ノ指示ニ從フベシ
- 三、時期 八月以後ノ豫定ナルモ未定（確定次第更ニ公報ヘ掲載ス）

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報（自七月二十日 至同 二十六日）

アレキサンドリア	バグダッド	ポルトサイド	孟買	カルカッタ	チッタゴン	カラチ	マドラス	モールメロン	關貢	彼南	パタゴニア	ベスト		コレラ		痘瘡	
												患者	死者	患者	死者	患者	死者
四	三	一	一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
三			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一
			一	一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一	一

○艦船所在

指印ハホセ
定ヲ要セズ

○八月六日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、金剛▲、八雲▲、古鷹▲、磐手、赤城▲、多摩▲、長門▲、春日、北上、ト迅鯨、羽黒▲、ト長鯨

ト沖風、矢風、峯風、澤風、ト沙風、島風、灘風、夕風、ト楠、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、ト伊二、伊一、ト呂六一、呂六〇、呂六二、ト呂六四、呂六三、伊五九▲、伊六〇▲、伊六三▲、ト伊五五、伊五三、伊五四、ト伊五六、伊五七、伊五八

富士、尻矢、神威

(高雄)

【長浦】

阿蘇、嚴島、ト太刀風、帆風、羽風、秋風、ト杉、柏、楠、松、ト如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂一二、呂一三、ト呂二二、呂二〇、呂二一、ト呂五六、呂五四、呂五五、伊三、ト伊二四、伊二二、伊二三

【横濱】

(天霧)

浦賀】(狹霧)

【館山】

ト陸奥、榛名、伊勢、山城、ト由良、長良、川内、ト那珂、ト加賀、鳳翔、ト尾柄、那智、妙高、ト青葉、衣笠、加古、ト鬼怒、ト早嶽、吳竹、若竹、早苗、ト朝顔、刈萱、ト萩、薄、藤、葛、ト菱、葦、ト野風、神風、波風、沼風、ト深雪、吹雪、白雪、初雪、ト叢雲、薄雲、東雲、白雲、ト浦波、磯波、敷波、綾波

ト掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、間宮、能登呂、朝風、春風、旗風、大泊

【大湊】

【富内】

【オノ】

【呉】

【才】

洲崎、隠戸、扶桑、日向▲、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、白鷹、大井、天龍▲、韓崎、ト江風、谷風、菊、葵、ト濱風、磯風、天津風、時津風、芙蓉▲、夕顔、ト呂五二、呂二八、ト呂二七、呂二六、ト呂一四、呂一五、呂一六、ト呂一九、呂一七、呂一八、ト呂五三、呂五一、ト呂五八、呂五七、ト呂五九、呂二五、呂六八、ト伊六一、伊六二、ト伊五二、伊五一、ト掃一〇、掃七、掃八、掃九

海軍公報 第千六十一號 昭和五年八月六日

七七七

0931

劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳、室戸、青島

【舞鶴】(愛宕)、(伊六四)

吾妻、阿武隈

呂三

呂三一

(夕霧)

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根、木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

樺、櫻、橘、桐、文月、阜月、水無月、長月、夕月、三月月、望月、菊月、樞

梨、竹、榎、夕風、疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、呂六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、早稲、佐多、鶴見、野島

【馬公】五十鈴

柿、梅、楡、栗

【作業地】滿州

【鎮海】朝風、追風

【旅順】椿、櫻、桑、楨

【青島】球磨

【上海】鯨賊

【南京】勢多

【九江】阴田

【漢口】安宅、平戸、壺田

【長沙】浦風

【宜昌】比良

【重慶】保津

【トランク】膠州

【西トランク】淀

【航海中】

【松風】(六月二十六日大湊發)

伏見 (一日上海發—漢口—)

鳴戸 (一日徳山發—オハ—)

宇治 (五日廣東發—梧州—)

鳥羽 (五日上海發—蕪湖—)

伊四 (五日鳥羽發—横須賀—)

熱海 (六日大湊發—漢口—)

(別紙一葉、部内限附録六頁)

0932

海軍公報

第千六十二號

昭和五年八月七日(木)

海軍大臣官房

○通牒

經豫第四一八號

昭和五年度歲出臨時部細科目中砲艦(目)造船費(節)中第一砲艦、第二砲艦及附屬費ノ各上ノ「□」印及同日、造兵費(節)中第一砲艦、第二砲艦及附屬費ノ各上ノ「□」印ヲ削除ス

尙昭和五年度一般會計歲出臨時部土地區劃整理換地清算金(款)ノ解疏ニ「第一豫備金補充費途」ヲ追加セラレ、歲出經常部軍事費(款)雜給及雜費(項)内國旅費(目)出張旅費(節)解疏中「竝解職ノトキ給スル旅費ノ類共」ヲ「及解職ノトキ給スル旅費並遺族手當ノ類共」ニ、諸支出金(款、項)死亡手當(目)ノ解疏「海軍旅費規則ニ依リ給スル分」ヲ「外國旅費規則、海軍外國旅費規則、南洋群島關東州南滿洲旅費規則及海軍南洋群島關東州南滿洲旅費規則ニ依リ給スル分」ニ改メラル

昭和五年八月七日

海軍省經理局長

海共第一三六號ノ二
海軍共濟組合旅費規程第十條ニ依ル日常、宿泊料、食卓料ハ當分ノ間同規程ニ拘ラス左表ニ依リ之ヲ支給ス
昭和五年八月七日
海軍艦政本部長

日常、宿泊料、食卓料

食卓料	宿泊料		日常		旅費等級
	朝鮮、臺灣、樺太	内地	朝鮮、臺灣、樺太	内地	
三三五	八五〇	六八〇	五九〇	五〇	一等
三三五	七六〇	五九〇	五二〇	四三〇	二等
一八〇	五九〇	四六〇	三四〇	三五〇	三等
二二五	三八〇	三九〇	三〇	一七〇	四等
九〇	三九〇	三〇	一七〇	一三〇	五等

海軍公報 第千六十二號 昭和五年八月七日

七七九

0934

○ 辭 令

海軍中佐 大野 厚行

海軍軍令部事務囑託ヲ解ク

海軍技手 芦野 亀

依願免本官(以上^レ海軍省)

0935

○艦船所在

指[△]印[△]ハ[△]ホ[△]フ
定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○八月七日午前十時調

【横須賀】

筑摩[△]、日進[△]、金剛[△]、八雲[△]、古鷹[△]、磐手、赤城[△]、多摩[△]、長門[△]、春日、北上、▽迅鯨、羽黒[△]、▽長鯨

▽沖風、矢風、峯風、澤風、▽沙風、島風、灘風、夕風、▽楠、梅、桂、楓、朝霧

伊二一、▽伊二二、伊一、▽呂六一、呂六〇、呂六二、▽呂六四、呂六三、

▽伊五九[△]、伊六〇[△]、伊六三[△]、▽伊五五、伊五三、伊五四、▽伊五六、伊五七、伊五八

富士、尻矢、神威、能登呂

【長浦】

(高雄) 阿蘇、殿島

▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽杉、柏、楠、松、▽如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂一二、呂一三、▽呂二二、呂二〇、呂二一、▽呂五六、呂五四、

呂五五、伊三、伊四、▽伊二四、伊二三、伊二三

【横濱】

(天霧) 浦賀

(狹霧)

【館山】

▽陸奥、榛名、伊勢、山城、▽由良、長良、川内、▽那珂、▽加賀、鳳翔、▽足柄、那智、妙高、▽青葉、衣笠、加古、▽鬼怒

▽早蕨、吳竹、若竹、早苗、▽朝顔、刈萱、▽萩、薄、藤、葛、▽菱、葦、▽野風、

神風、波風、沼風、▽深雪、吹雪、白雲、初雪、▽叢雲、薄雲、東雲、白雲、▽浦波、磯波、激波、綾波

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、間宮

【大湊】

朝風、春風、旗風

【富内】

大泊

【吳】

隱戸

扶桑、日向[△]、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、白鷹、大井、天龍[△]、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽濱風、磯風、天津風、時津風、芙蓉[△]、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▽呂二七、呂二六、呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一九、

呂一七、呂一八、▽呂五三、呂五一、呂五八、呂五七、呂五九、呂二五、

▽伊六一、伊六二、▽伊五二、伊五一、▽掃一〇、掃七、掃八、掃九、劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳

0936

【舞鶴】(愛宕)、(伊六四)
吾妻、阿武隈

呂運、蓬、蓼

呂三一

(夕霧)

【佐世保】

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

本會、對馬、常磐、霧島、龍田

樺、櫻、橘、桐、文月、阜月、水無月、

長月、夕月、三日月、望月、菊月、

梨、竹、楓、夕風、疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、

呂二三、呂三〇、呂二九、呂三二、

呂六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、佐多、鶴見、野島

五十鈴

柿、梅、楡、栗

滿州

鎮海、朝風、追風

旅順、樺、櫻、桑、楨

青島、球磨

上海、嵯峨

樺、柳、桃

南京、勢多

九江、隅田

大谷、伏見

漢口、安宅、平戸、堅田、二見

【沙市】 浦風
比良

【重慶】 保津

【トランク】 膠州

【航海中】

【松風】 (六月二十六日大湊發)

鳴戸 (一日徳山發「オハ」)

宇治 (五日廣東發「梧州」)

鳥羽 (五日上海發「蕪湖」)

檜 (五日佐世保發「上海」)

熱海 (六日大湊發「漢口」)

淀 (六日西「トランク」發「作業地」)

早瀬 (六日佐世保發「オハ」)

洲崎 (六日「オハ」發「徳山」)

青島 (六日吳發「横須賀」)

呂六八 (七日吳發「佐世保」)

室戸 (七日吳發「徳山」)

(部内限一頁)

0937



第十一號發賣

定價各號一圓
 送料各號(内地十六錢)
 (外國三十六錢)
 四六倍判三五〇頁内外
 登載圖書數二千冊以上

内閣印刷局編纂
官廳刊行圖書目錄
 第十一號(昭和四年七月—九月)

既刊
 第一號第二號第三號第四號
 (昭和二年四期分)
 第五號第六號第七號第八號
 (昭和三年四期分)
 第九號第十號
 (昭和四年二期分)

- 刊行ノ趣旨**
- 從來各官廳ノ刊行物ガ一般ニ周知活用サレズ又全體ニ亘ツテ簡單容易ニ知ル便宜ガ欠ケテ居リマシム。
 - 從テ官廳アハ廣ク國民啓蒙ノ爲ニ印刷サレシモノデモ其目的ノ徹底ヲ欠ク場合ガ少クナイ様ニ思ハレマス。
 - 處ガ官廳刊行物中ニハ各方面ニ亘ツテ調査研究シテ重要ノ資料ガ深由アリマスカラ之ヲ一般ニ周知セシムルコトハ我國ノ文化ノ進展ニ必要ナコトト信ジマス。
 - 此意味カラシテ本書ハ各般ノ調査研究ノ資料ヲ求ムル源泉トモ云ヒ得ルカト思ヒマス。
- 本書ノ特長**
- 各官廳印刷物ノ内容ノ概要ヲ察知スルコトガ出來マス。
 - 官廳別目錄ト分類別目錄トノ兩部ニ分ケテ二方面カラ見得ラレル様ニシテアリマス。
 - 官廳別ト分類別ノ兩部ヲ對照併用シテ各圖書ニ付テノ全部ノ事項ヲ完全ニ知リ得ル様ニナツテ居リマス。
 - 分類別目錄ハ各圖書毎ニ切取テ圖書又ハ索引「カード」ニ貼ルコトガ出來ル様ニシテアリマス。
 - 官廳アハ官廳別目錄ヲ切取テ各自ノ刊行物ノモノ目錄ヲ作製スルコトモ出來マス。
- 内容ノ概説**
(裏面參照)
- 今後モ毎三箇月間ニ各官廳ア編纂サレタ刊行物ヲ一經メニシテ繼續刊行致シマス。從ツテ初號カラ御備ヘニナルコトガ必要ト存ジマス。
 - 各省ノ刊行物初メ朝鮮、臺灣、關東、樺太、南洋其他道府縣ノ各廳ハ勿論各試驗所、學校、圖書館、商品陳列所等ヲモ全部網羅シテ居リマス。
 - 各印刷物ニ就テ主管部局課名、刊行年月及内容又ハ其刊行年月、賣品ノ定價、販賣所等ヲモ載シテアリマス。

- 販賣ノ方法**
- 全國官報販賣所ア販賣シマス
 - 官報販賣所ノ所在ハ毎月末日官報廣告ニアリマス
 - 當局官報課發賣掛アモ直接販賣シマス
 - 御希望ノ方ハ前金ヲ添ヘ御申込メ下サイ
 - 全國ノ主ナル書店アモ販賣致シマス

東京市麴町區大手町 内閣印刷局 (電話 九ノ内(23)351—9番)
 (振替口座 東京 19,000番)

(裏面注意)

0880

0938

第十一次 内容見本

次

官廳別ノ部	内閣省	宮内省	農林省	省廳	外務省	務省	工務省	内務省	大藏省	鐵道省	省廳	陸軍省	省廳	海軍省	省廳	司法省	省廳
分類別ノ部	政治外交	法制	法務	統計	經濟	燃料	教育	財政	金融	拓殖	殖業	産業	保險	農業	陸運	海運	林業
	文部省	臺灣總督府	農林省	統計	經濟	燃料	教育	財政	金融	拓殖	殖業	産業	保險	農業	陸運	海運	林業
	文部省	臺灣總督府	農林省	統計	經濟	燃料	教育	財政	金融	拓殖	殖業	産業	保險	農業	陸運	海運	林業

官廳別ノ部	陸軍省	主 管 部、局、課 名	圖 書	刊 行 日	定 期	定 價	郵送料	發 行 所
		陸軍航空本部	航空事情 第57號—第59號	7月9日	不定期	1冊 30円	(送料共)	陸軍航空本部 (陸軍、軍、空)
		朝鮮總督府	朝鮮人參禮讚	7月	不定期			

分類別ノ部	航空	圖 書	重 要 事 項	刊行沿革
		航空事情 第57號—第59號 昭和4年7月—9月 陸軍航空本部(陸)	必要、米國ノ航空歐洲ヲ凌駕ス、攻勢的飛行機ノ必要、一九二七年民間航空ノ進歩、支那ノ航空等。58號：一、對進航空ノ鐵道省或、記録、米國ノ航空機工業、ヲ奉邦民間航空ノ五年計畫等。59號、危險、獨逸青年ニ對スル航空思想普及手段、夜間空中交通、英國防氣球搭乗者ノ防護法等	創、大、11日
		朝鮮人參禮讚 昭和4年9月 朝鮮總督府專賣局		創、昭、4.5

8880

(圖 商 注 意)

0939

新刊取次緊告

前參謀總長 前聯合艦隊司令長官
陸軍大將 鈴木莊六閣下題字
前海軍々々令部長 海軍大將 柄内曾次郎閣下題字
軍事參議官 加藤寛治閣下題字
海軍大將 海軍中將 佐藤鐵太郎閣下序文
海軍大佐 佐藤六平著 兵用圖書株式會社出版

國防原論

四六版洋裝
三百數十頁
定價壹圓
部内限特價九十錢

最新刊

熱血ノ快著
空前ノ名篇
不滅ノ原論

今ヤロンドン會議ハ終了シ、國防上ノ一轉機ニ直面シ之ヲ眞摯ニ研究シ、趨勢ニ從ヒ其ノ方針ヲ誤ラサル新國防ノ樹立ハ喫緊ノ要事タリ、況ンヤ國防ハ國家ノ存立ニ關スル重大問題ナルノミナラス、國防費ハ總經費ノ約三分ノ一ヲ占ム之ヲ以テスルモ國防觀念ヲ適正ニ理解シ之カ正鵠ヲ期シ國家ヲ泰山ノ安キニ置クハ我等同胞七千萬人ノ權利タリ、義務タリト謂ハスシテ何ソヤ
著者ハ絶大ノ努力ヲ以テ熱筆ヲ揮ヒ歴史ヲ經トシ、理論ヲ緯トシ、世界ノ大勢ヲ對象トシ、協同ト生存競争ノ原理概念、思想ノ變遷、國防ノ展開變化、國家、軍備、戰爭、軍紀國民精神、軍備ノ標準、國防費、史的國防觀、列國海軍方針、軍縮等、國防ノ基礎觀念ヲ徹底的ニ紹介シ、以テ現代ノ國防ヲ高調平易ニ論述シタルモノナリ。本書ハ國防ノ光明タリ、權威タリ、研究ノ絶好書タリ、眞ニ必讀ノ愛國書トス

目次

第一章 總論	第八章 軍備ノ標準	附錄
對外思想ノ變遷—自力救済ノ推移—國家自衛ノ發達—國防トハ何ソヤ—軍備ハ相對的ナリ—本論ノ概念	總說—軍備ト地理—軍備ト人口—軍備ノ最低標準—日本海軍ノ標準	總說—國防ト機動員—國防ノ要素
第二章 國家	第九章 國防費	第十四章 結論
總說—國家ハ如何ニシテ成立セルカ—國家ノ內容—國家ノ種類—大日本帝國	總說—國防費ノ沿革及其膨脹	
第三章 國家ト國防	第十章 國防觀念	
總說—國家ノ目的概念—我帝國ト軍備	總說—我國國民ノ對戰タル歴史の教訓—歴史ヲ對象トスル國防觀—世界大戰ノ各國ニ與ヘタル國防觀念	第一 平時國際法關係條約
第四章 軍備	第十一章 列國海軍方針	第二 戰時國際法關係條約
總說—軍備ノ目的—平和方戰爭方	總說—主力艦、補助艦及航空母艦—英國海軍—米國海軍—日本海軍—佛國海軍—伊國海軍—潛水艦發展問題—軍縮ト比較問題—倫敦會議開會式ニ於ケル各國全權ノ演說要旨	第一 海牙平和會議諸條約—開戰ニ關スル條約—陸戰ノ場合ニ於ケル中立國及中立人ノ權利義務ニ關スル條約—海戰ノ場合ニ於ケル中立國ノ權利義務ニ關スル條約
第五章 戰爭	第十二章 列國海軍ノ現勢	第三 政治條約
總說—戰爭トハ何ソヤ—戰爭開始ノ標準—敵ノ到來ニ豫告アリヤ	第十三章 現代國防(廣義ノ國防)	太平洋方面ニ於ケル島嶼タル屬地及島嶼タル領地ニ關スル四國條約—海軍々々備制限ニ關スル條約—華府條約海軍制限一覽表—不戰條約—同英文—倫敦海軍會議諸條約—同英文—同日本政府回答文—一九三〇年倫敦海軍條約
第六章 軍紀、綱紀		
總說—軍紀、綱紀ノ意義		
第七章 統帥權ト國務大臣		
總說—統帥權ト國務大臣		
◎本書ハ目下豫約募集中ノモノニシテ七月十日ヨリ申込順ニ配本ス特價販賣ハ書肆協定上困難ナルヲ特ニ減價取次グ次第ニツキ右御諒知アリ度シ		

圖書名	部數	勤務所	官氏	名	電報略符
國防原論					

○本書に限り特に特價前金申込のこと。前金申込にあらざれば送本せず。送金は當社振替口座拂込のこと、又は爲替とするも差支なし。轉勤の場合は速に轉勤先を御通知あり度し。○送料は當社負擔のこと

昭和五年 月 日
東京 水交社
東京水交社學務係
總發行所東京二二七四番

海軍公報 第六十三號

昭和五年八月八日(金)

海軍大臣官房

○通牒

軍務一第一八一號

昭和五年八月八日

海軍省軍務局

各(艦)艇長殿

恩給年加算ニ關スル件照會

艦船(雜役船ヲ除ク)ノ恩給年加算ニ關シ恩給法ニ依リ加算セラルル事項發生シタル際ハ始期終期毎ニ其ノ都度左記ニ依リ速ニ通報相成度

記

艦船名	始期	終期	年月日	發地名	行先	任務
(檣)	(五年七月二十日)	(旅順)			(龍口)	(外鎮)
	(五年八月三日)	(旅順)				(鎮成)

括弧内ハ例ヲ示ス

軍務二第二四五號ノ二

海軍公報 第六十三號 昭和五年八月八日

昭和五年八月八日

海軍省軍務局長

各鎮守府、要港部 參謀長殿
第二、第二艦隊

汽船「トロール」漁業許可ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ今般左記ノ通許可セル旨農林省水産局長ヨリ通知有之候

記

許可番號 第一一二號

住 所 東京市麴町區丸ノ内二丁目十八番地

氏名又ハ名稱 國際工船漁業株式會社

船 名 第百國際丸

操業區域 (イ北緯五十一度以北東經百六十度以東

ノ「ベロリソグ」海但シ堪察加「オリユートルスキト」岬ヨリ「ナツリ」岬ニ至ル線内ニシテ水深六十尋以內ノ海面ヲ除ク

七八三

0941

(ロ)北緯五十一度以北東經百五十度以西
ノ「オホーツク」海

漁獲物陸揚港 小樽港、東京港及大阪港

許可期間 昭和五年七月十九日ヨリ起算シ拾箇年

制限又ハ條件 (一)汽船「トロール」漁業監視ノ爲吏員

ノ乗組ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコ
トヲ得ズ

(二)他人ニ許可セラレタル母船式鮭鱈漁

業ノ定置漁具操業區域並ニ定置漁具
操業區域間ニ於テハ操業スルコトヲ
得ズ

許可年月日 昭和五年七月十九日

船舶番號 參六貳〇六

總噸數 貳七貳噸四四

實馬力 六六四馬力

最快速力 壹壹節壹六七

○辭令

海軍機關少佐 遠山 清春
第三課勤務ヲ命ス(ハ)海軍省教育局)

部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(ハ)海軍艦政本部) 工手 芦野 亀

○雜款

○英艦行動豫定變更(七月廿日及廿四日)

ケン ト 宮島寄港ヲ取止ム
ベリツク 鹿兒島寄港ヲ取止ム

○佛艦行動豫定變更(七月十四日)

ソルデツク、ルソトハ敦賀在泊ヲ十八日迄延期函館
以下北日本巡航ヲ取止ム

○郵便物發送先

特務艦野島宛

八月 十日 日迄到達見込ミノモノハ 佐世保

同 十二日 日迄ニ 同 西戸崎

同 二十日 日迄ニ 同 高世保

同 二十五日 日迄ニ 同 佐世保

九月 一日 日迄ニ 同 横須賀

其ノ後ハ 同 佐世保

豫備役海軍大佐正五位勳三等功五級津留雄三本月
七日卒去、葬儀ハ來十日午前十一時ヨリ正午迄青
山齋場ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

豫備役海軍中尉從七位谷村芳一七月二日吳市八幡
通一丁目八番地自宅ニ於テ死去セリ

海軍公報 第千六十三號 昭和五年八月八日

七八五

0943

○艦船所在

指[△]印[△]ハ[△]水[△]ヲ要[△]セズ

○八月八日午前十時調

【横須賀】

筑摩[△]、日進[△]、金剛[△]、八雲[△]、古鷹[△]、磐手、赤城[△]、多摩、長門[△]、春日、北上、▽迅鯨、羽黒[△]、▽長鯨

▽沖風、矢風、峯風、澤風、▽汐風、島風、灘風、夕風、▽楠、梅、桂、楓、朝霧、神風

伊二一、▽伊二二、伊一、▽呂六一、呂六〇、呂六二、▽呂六四、呂六三、▽伊五九[△]、伊六〇[△]、伊六三[△]、▽伊五五、伊五三、伊五四、▽伊五六、伊五七、伊五八

富士、尻矢、神威、能登呂
(高雄)

【長浦】

阿蘇、嚴島

▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽杉、柏、榊、松、▽如月、彌生、睦月、卯月

呂一一、呂一二、呂一三、▽呂二二、呂二〇、呂二一、▽呂五六、呂五四、呂五五、伊三、伊四、▽伊二四、伊二三、伊二三

【横濱】

(天霧)

浦賀(狹霧)

川内、▽那珂、▽加賀、鳳翔、▽足柄、那智、妙高、▽青葉、衣笠、加古、▽鬼怒、早濑、吳竹、若竹、早苗、▽朝顔、刈萱、▽萩、藤、葛、▽菱、葎、華、▽野風、波風、沼風、▽深雪、吹雪、白雪、初雪、▽叢雲、薄雲、東雲、白雲、▽浦波、磯波、敷波、綾波

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六
問宮
朝風、春風、旗風
大泊
大和

【大湊】

【富内】

【吳】

扶桑、日向[△]、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

▽江風、谷風、菊、葵、▽濱風、磯風、天津風、時津風、芙蓉[△]、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▽呂二七、呂二六、呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一九、呂一七、呂一八、▽呂五三、呂五一、▽呂五八、呂五七、▽呂五九、呂二五、▽伊六一、伊六二、▽伊五二、伊五一、▽掃一〇、掃七、掃八、掃九
劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳

海軍公報 第千六百三號 昭和五年八月八日

七八七

0944

【徳山】(愛宕)、(伊六四)

【舞鶴】

【吾妻】

阿武隈、
遼、蓬、
呂三一

(夕霧)

【佐世保】

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根、
木曾、對馬、常磐、霧島、龍田、
樺、櫻、橘、桐、
長月、
梨、竹、榎、夕風、疾風、
呂二、呂三、呂四、呂五、
呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、
呂六六、呂六五、呂六七、呂六八、
敷島、知床、佐多、鶴見、野島、
五十鈴

【馬公】

柿、榎、榆、栗

【基隆】

滿州、
朝風、追風

【鎮海】

樺、榎、桑、楨

【旅順】

球磨

【青島】

球磨

【上海】

嵯峨

【南京】

勢多

【燕湖】

鳥羽

【九江】

隅田、伏見

【漢口】安宅、平戸、堅田、二見

浦風

【宜昌】

比良

【重慶】

保津

【トラック】

膠州

【作業地】

淀

【航海中】

松風 (六月二十六日大湊發)

【松風】

鳴戸 (一日徳山發)「オハ」()

【宇治】

熱海 (五日廣東發)「梧州」()

【早瀬】

洲崎 (六日大湊發)「漢口」()

【早瀬】

洲崎 (六日佐世保發)「オハ」()

【洲崎】

青島 (六日「オハ」發)「徳山」()

【青島】

櫻、柳、桃 (六日吳發)「横須賀」()

【櫻、柳、桃】

障戸 (七日「オハ」發)「徳山」()

(部内限ナシ)

0945

海軍公報

第千六十四號

海軍大臣官房

昭和五年八月九日(土)

○令達

官房第一三五九號ノ二
本年官房第一三五九號中左ノ通改正ス

昭和五年八月九日

海軍大臣

一、選拔表到達期日 昭和五年八月二十五日

二、候補者

(イ)大正十四年十二月一日ヨリ昭和二年十二月一日迄
ノ間ニ於テ海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル者

(參照) 本年官房第一三五九號ハ海軍軍醫學校高等科學
生召募ニ關スル件ナリ(四月二十三日公報參照)

○雜款

○呂號第六十八潜水艦行動豫定

地名 着

八月七日

佐世保 八月八日

○米國飛行機本邦飛行豫定

本飛行ニ付本年三月二十九日本欄ニ掲載セルモ今般更
ニ飛行家「ハットン」立川奉天間飛行ニ對シ左記ノ通
許可條件ヲ附加セラレタリ

記

一、富士山撮影飛行ノ場合ニ限り飛行機ニ寫真機ノ搭
載ヲ許可ス尙飛行實施ノ際ハ遞信省職員ヲ搭乘セ
シムルコトアルベキコト

一、蔚山飛行場着陸ハ差支ナキモ同飛行場ハ降雨後ハ
地盤軟弱トナリ使用不可能ニ陥ルコトアルベキコ
ト

一、大連着陸ハ許可相成難コト

一、奉天ヨリ大連經由上海ニ向ケ飛行スル場合ノ航空
路ハ之ヲ次ノ如ク指定ス

奉天、大石橋ヨリ遼東灣ノ沿岸ニ沿ヒ鳳鳴島ヨリ
小龍山島ヲ經廟島列島ニ沿ヒ山東ヘ

一、本邦領土内竝ニ關東廳管内ニ於ケル航空ニ關シテ
ハ本年三月二十二日附空監第二一六九號ヲ以テ指

海軍公報 第千六十四號 昭和五年八月九日

七八九

0946

海軍公報 第六十四號 昭和五年八月九日

提示タル許可條件（三月二十九日掲載ノモノヨ同
ルジ）ヲ遵守スルコト



七九〇

0947

○艦船所在

指印△印△ハ△ホ△ノ
定マヲ要セズ

○八月九日午前十時調

【横須賀】

筑摩△、日進△、金剛△、八雲△、古鷹△、磐手△、
赤城△、多摩△、長門△、春日△、北上△、榛名△、
山城△、那珂△、迅鯨△、加賀△、鳳翔△、
足柄△、羽黒△、那智△、妙高△、青葉△、衣笠△、
加古△、長鯨△

△沖風、夕風、峯風、澤風、沙風、島風、
灘風、夕風、楠、梅、桂、楓、朝霧、
野風、神風、波風、沼風

伊二一、伊二二、伊一、呂六一、
呂六〇、呂六二、呂六四、呂六三、
伊五九、伊六〇、伊六三、伊五五、
伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、
伊五八

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六
富士、尻矢、神威、青島、間宮、能登呂

(高雄)
阿蘇、嚴島、鬼怒

【長浦】

太刀風、帆風、羽風、秋風、杉、柏、榊、松、
如月、彌生、睦月、卯月、早蕨、吳竹、
若竹、早苗、朝顔、刈萱、萩、薄、藤、
葛、菱、葦、葎、深雪、吹雪、白雪、

初雪、濃雲、薄雲、東雲、白雲、浦波、
磯波、敷波、綾波

呂一一、呂一二、呂一三、呂二二、
呂二〇、呂二一、呂五六、呂五四、
呂五五、伊三、伊四、伊二四、伊三三、
伊二三

【横濱】陸奥、伊勢、由良、長良、川内

【浦賀】(狹霧)

朝風、春風、旗風

【富内】大和

扶桑、日向、神通、淺間、比叡、矢矧、
勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

江風、谷風、菊、葵、濱風、磯風、
天津風、時津風、芙蓉、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、呂二七、呂二六、
呂一四、呂一五、呂一六、呂一九、
呂一七、呂一八、呂五三、呂五一、
呂五八、呂五七、呂五九、呂二五、
伊六一、伊六二、伊五二、伊五一

掃一〇、掃七、掃八、掃九
劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳

(愛宕)、(伊六四)

【徳山】室戸

【舞鶴】吾妻、阿武隈

呂運、蓬、蓼

呂三一

(夕霧)

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

樺、櫻、橘、桐、文月、皐月、水無月、

長月、夕月、三日月、望月、菊月、

梨、竹、榎、夕風、疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、

呂二三、呂三〇、呂二九、呂三二、

呂六六、呂六五、呂六七、呂六八

敷島、知床、佐多、鶴見、野島

【馬公】五十鈴

柿、梅、楡、栗

【基隆】滿州

【鎮海】朝風、追風

【旅順】椿、樺、桑、楨

【青島】球磨

【上海】嵯峨

【南京】勢多

【燕湖】鳥羽

【九江】伏見

【漢口】浦風

安宅、平戶、堅田、熱海

【長沙】二見

【宜昌】比良

【重慶】保津

【梧州】宇治

【トランク】膠州

【作業地】淀

【航海中】

【松風】(六月二十六日大濠發)

鳴戸 (一日徳山發「オハ」)

早瀬 (六日佐世保發「オハ」)

洲崎 (六日「オハ」發「徳山」)

【櫻、柳、桃】(七日上海發「漢口」)

隠戸 (七日「オハ」發「徳山」)

岡田 (八日九江發「漢口」)

(部内限一頁)

0349

海軍公報

第千六十五號

昭和五年八月十一日(月)

海軍大臣官房

○辭令

○昭和五年八月十日

任海軍書記
給五級俸

市口小二郎

海軍書記 市口小二郎

海軍艦政本部附ヲ命ス(海軍省)
依願免本官(同)

市口小二郎

技術部勤務ヲ命ス(海軍航空本部)
海軍書記 池田 忍

電氣研究部附ヲ命ス(海軍技術研究所)

○雜款

○司令潜水艦變更
第十九潜水隊司令ハ本月五日司令潜水艦ヲ伊號第五十六潜水艦ヨリ伊號第五十七潜水艦ニ變更セリ

○事務所設置
狹霧艦裝具事務所ヲ浦賀船渠株式會社浦賀工場内ニ設置シ本月七日ヨリ事務ヲ開始セリ

豫備役海軍大佐正五位勳三等清遠光禮本月七日靜岡市大岩入小路九八ノ一自宅ニ於テ卒去、同八日火葬ノ上郷里高知縣香美郡東川村宇山川ニ於テ神式ニ依リ葬儀執行

海軍公報 第千六十五號 昭和五年八月十一日

七九三

0950

○艦船所在

印ハハホ
指定ヲ要セズ

○八月十一日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲、日進▲、金剛▲、八雲▲、古鷹▲、磐手、赤城▲、多摩▲、長門▲、春日、北上、榛名、山城、ト那珂、ト迅鯨、ト加賀、鳳翔、ト足柄、羽黒▲、那智、妙高、ト青葉、衣笠、加古、ト長鯨

ト沖風、矢風、峯風、澤風、ト沙風、島風、灘風、夕風、ト楠、梅、桂、楓、朝霧、ト野風、神風、波風、沼風

伊二一、ト伊二、伊一、ト呂六一、呂六〇、呂六二、ト呂六四、呂六三、ト伊五九▲、伊六〇、伊六三、ト伊五五、伊五三、伊五四、ト伊五七、伊五六、伊五八

ト掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、富士、尻矢、神威、青島、間宮、能登呂

【長浦】

阿蘇、殿島、ト鬼怒

ト太刀風、帆風、羽風、秋風、ト杉、柏、榊、松、ト如月、彌生、睦月、卯月、ト早蕨、吳竹、若竹、早苗、ト朝顔、刈萱、ト萩、薄、藤、葛、ト菱、葦、童、ト深雪、吹雪、白雪、

【横濱】

ト陸奥、伊勢、ト由良、長良、川内

【浦賀】

初雪、ト叢雲、薄雲、東雲、白雲、ト浦波、磯波、敷波、綾波、呂一一、呂一二、呂一三、ト呂二二、呂二〇、呂二一、ト呂五六、呂五四、呂五五、伊三、伊四、ト伊二四、伊二三、伊二三

【大湊】

朝風、春風、旗風、ト泊、ト松風、ト東自浦、大和、トオハ、ト鳴戸

【吳】

扶桑、日向▲、神通、淺間、比叡、矢矧、勝力、自鷹、大井、天龍、韓崎、ト江風、谷風、菊、葵、ト濱風、磯風、天津風、時津風、芙蓉▲、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、ト呂二七、呂二六、呂一四、呂一五、呂一六、ト呂一九、呂一七、呂一八、ト呂五三、呂五一、ト呂五八、呂五七、ト呂五九、呂二五、ト伊六一、伊六二、ト伊五二、伊五一、ト掃一〇、掃七、掃八、掃九、劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳

【舞鶴】(愛宕)(伊六四)
吾妻、阿武隈

呂三、
呂三一

【佐世保】

若宮、夕張、胸橋、名取、出雲、利根

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

樺、櫻、橘、桐、文月、阜月、水無月、
長月、夕月、三日月、望月、菊月、
梨、竹、雁、夕風、疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、
呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、
呂六六、呂六五、呂六七、呂六八

救島、知床、佐多、鶴見

【馬公】

五十鈴
柿、梅、楡、栗

【基隆】

滿州

【鎮海】

朝風

【旅順】

櫻、桑

【上海】

蝶娥

【南京】

勢多

【燕湖】

鳥羽

【九江】

伏見

【漢口】

安宅、平戶、壘田、岡田

長沙、二見
櫻、柳、浦風

【宜昌】北良

【重慶】保津

【梧州】字治

【下ラツク】淀

膠州

【航海中】

早鞆 (六日佐世保發「オハ」)

洲崎 (六日「オハ」發「徳山」)

隱戸 (七日「オハ」發「徳山」)

熱海 (九日漢口發「沙市」)

追風 (九日鎮海發「雄基」)

室戸 (九日徳山發「舞鶴」)

球磨 (十日旅順發「青島」)

野島 (十一日青島發「旅順」)

野島 (十一日佐世保發「西戸崎」)

(部内限一頁)

0952

海軍公報 第千六十六號

昭和五年八月十二日(火)
海軍大臣官房

○通牒

官房第二五五一號ノ四

昭和五年八月十二日

海軍次官

吳鎮守府參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左ノ通免狀交
付相成候

記

第八三號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 サマリア號
- 一、國籍 英國
- 二、種類 汽船
- 一、船主氏名及國籍 英國 キューナード汽船會社
- 二、船長氏名及國籍 アール、ジー、マリン

海軍公報 第千六十六號 昭和五年八月十二日

一、噸數 一九、五九七噸

一、寄航ノ目的 觀光

一、寄港地名 廣島縣宮島

右不開港場へ寄港ヲ特許ス

本免狀有效期間ハ昭和六年一月十六日ヨリ昭和六年

一月十八日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ

寄港ヲ差止ムルコトアルベシ

昭和五年八月二日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ
港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應ジ其ノ
検査ヲ受クベシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ
- 四、前記ノ中何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ

七九七

0953

直ニ此ノ免許ヲ取消スベシ
五、此ノ免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタ
ルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スベシ

六、出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必
要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

備考

五日市(廣島西方約五哩)ヨリ津久根島、大那沙
美島東端及神禰鼻(西能美島西北端)ヲ連ヌル線
以東ノ海面ニ立入ラザルコト

第八四號

不開港場寄港免狀

一、船名 フランコニア號

一、國籍 英國

一、種類 汽船

一、船主氏名及國籍 英國 キューナード汽船會社

一、船長氏名及國籍 英國人 イー、テイ、ブライテン

一、噸數 二〇、〇〇〇噸

一、寄港ノ目的 觀光

一、寄港ノ地名 廣島縣宮島

右不開港場へ寄港ヲ特許ス

本免狀有効期間ハ昭和六年四月十七日ヨリ昭和六年

四月十九日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ
寄港ヲ差止ムルコトアルベシ

昭和五年八月一日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ
港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スベシ

二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應ジ其ノ
檢査ヲ受クベシ

三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スベカラズ

四、前記ノ内何レノ條條タリトモ之ニ違背スルトキハ
直ニ此ノ免許ヲ取消スベシ

五、此ノ免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免許ヲ取消サレタ
ルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スベシ

六、出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クベシ又陸海軍ニ於テ必
要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルベシ

備考

五日市(廣島西方約五哩)ヨリ津久根島、大那沙
美島東端及神禰鼻(西能美島西北端)ヲ連ヌル線
以東ノ海面ニ立入ラザルコト

○艦船所在

指▲印ハハホフ
定ヲ要セズ

○八月十二日午前十時調

【横須賀】

筑摩▲日進▲金剛▲八雲▲古鷹▲磐手、
赤城▲多摩▲長門▲春日▲北上▲榛名、
山城、▷那珂、▷迅鯨、▷加賀、鳳翔、
足柄、羽黒▲那智、妙高、▷青葉、衣笠、
加古、▷長鯨

▷沖風、矢風、峯風、澤風、▷汐風、島風、
灘風、夕風、▷楠、梅、桂、楓、朝霧、
▷野風、神風、波風、沼風

伊二一、▷伊二二、伊一、▷呂六一、
呂六〇、呂六二、▷呂六四、呂六三、
伊五九▲、伊六〇、伊六三、▷伊五五、
伊五三、伊五四、▷伊五七、伊五六、
伊五八

▷掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
富士、尻矢、神威、青島、間宮、能登呂

【長浦】

阿蘇、嚴島、▷鬼怒
▷太刀風、帆風、羽風、秋風、▷杉、柏、榊、松、
▷如月、彌生、睦月、卯月、▷早蕨、吳竹、
若竹、早苗、▷朝顔、刈萱、▷萩、薄、藤、
葛、▷菱、葦、董、▷深雪、吹雪、白雪、

初雪、▷叢雲、薄雲、東雲、白雲、▷浦波、
磯波、敷波、綾波

呂一一、呂一二、呂一三、▷呂二二、
呂二〇、呂二一、▷呂五六、呂五四、
呂五五、▷伊四、伊三、▷伊二四、伊二二、
伊二三

【横濱】陸奥、伊勢、▷由良、長良、川内
(天霧)

【浦賀】(狹霧)
朔風、春風、旗風

【大湊】鳴戸
扶桑、日向▲神通、淺間、比叡、矢矧、
勝力、白鷹、大井、天龍、韓崎

▷江風、谷風、菊、葵、▷濱風、磯風、
天津風、時津風、芙蓉▲、夕顔

呂一、呂五二、呂二八、▷呂二七、呂二六、
▷呂一四、呂一五、呂一六、▷呂一九、
呂一七、呂一八、▷呂五三、呂五一、
▷呂五八、呂五七、▷呂五九、呂二五、
▷伊六一、伊六二、▷伊五二、伊五一

▷掃一〇、掃七、掃八、掃九
劍崎、攝津、石廊、高崎、朝日、襟裳

【舞鶴】(愛宕)、(伊六四)
吾妻▲、阿武隈▲

0956

〔選〕蓬、蓼

呂三一

室戸

(夕霧)

〔佐世保〕

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、利根、

木曾、對馬、常磐、霧島、龍田

〔樺〕櫻、橘、桐、〔文〕月、草月、水無月、

長月、〔夕〕月、三月月、望月、菊月、〔樺〕

梨、竹、榎、夕風、疾風

呂二、呂三、呂四、呂五、呂六八

呂二四、呂二三、〔呂〕三〇、呂二九、

呂三二、〔呂〕六六、呂六五、呂六七

敷島、知床、佐多、鶴見

〔伊万里灣〕

野島

〔馬〕公 五十鈴

〔柿〕梅、楡、栗

〔作業地〕

滿州

〔鎮〕海

〔朝〕風

〔雄〕基

追風

〔旅〕順

櫻、桑

〔青〕島

〔樺〕楨、楨

〔上〕海

〔嵯〕峨

〔鎮〕江

〔勢〕多

〔南〕京

〔桃〕

〔燕〕湖

鳥羽

〔九〕江

伏見

〔漢〕口

〔安〕宅、平戸、堅田、隅田

〔長〕沙

二見

〔沙〕市

〔樺〕柳、浦風

〔宜〕昌

熱海

〔重〕慶

比良

〔ト〕ラック

保津

〔航〕海中

〔早〕瀬

〔洲〕崎

〔六〕日、〔オ〕ハ、〔發〕上、〔德〕山

〔球〕磨

〔七〕日、〔オ〕ハ、〔發〕上、〔德〕山

〔宇〕治

〔十〕一、日、青島發上旅順

〔松〕風

〔十〕一、日、梧州發上廣東

〔大〕和

〔十〕一、日、大泊發上小樽

〔膠〕州

〔十〕一、日、東白浦發上孫杖

〔十〕一、日、トトラック發上作業地

(部内限一頁)

0957